

令和4年5月度 教育委員会要旨録

1 開催日 令和4年5月26日（木） 午後1時30分～

2 場所 多可町役場 特別会議室

3 出席者 教 育 長 越川 昌信
委 員 安藤 和志
委 員 木俣 美代子
委 員 岩田 光代
委 員 名生 陽彦

4 陪席者 教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織
学校教育課長 吉田 勇二
学校教育副課長 吉川 成悟
こども未来課長 市位 孝好
教育総務課主査 有田 好孝
教育総務課 吉田 宏行

5 議 案

議案第9号 多可町文化財保存活用地域計画協議会設置要綱について

議案第10号 多可町図書館協議会委員の委嘱について

議案第11号 多可町子ども・子育て会議委員の委嘱について

6 協議事項

(1) 6月議会定例会に上程する議案について

7 報告事項

(1) 各種委員会の報告

(2) 教育委員会事務局の報告

【教育総務課】

①多可町の教育の点検及び評価について

②就学援助事業について

③ハートフル学業支援金事業について

④多可町図書館事業について

○6月の行事予定

⑤那珂ふれあい館事業について

○6月の行事予定

⑥令和4年度 全県教育委員会研修会

日にち：令和4年8月18日（木）・19日（金）

場 所：ホテル北野プラザ六甲荘（神戸市）で開催予定

⑦令和4年度 新任教育委員会研修会

日にち：令和4年11月中旬

場 所：兵庫県民会館（神戸市）

⑧令和4年度 近畿市町村教育委員会研修大会

日にち：令和4年11月1日（火）

場 所：大阪府四條畷市で開催予定

⑨4月定例教育委員会要旨録について

【学校教育課】

①6月行事予定

②多可町不登校対策アクションプラン

【こども未来課】

①第4回多可町認定こども園保育フェア

②第33回全国おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展について

③中・みなみ児童館「かきかた」・「ずこう」・「書道」について

④土曜チャレンジ・出前ひろばについて

⑤6月行事予定について

(3)次回教育委員会について

令和4年6月23日(木) 午後1時00分～

(4)その他

閉 会

【開 会】

教育長あいさつ

日程第1 会議録署名委員の指名

安藤委員と岩田委員を指名

日程第2 教育長の報告

(1) 不登校対策の取組みについて

長引くコロナ禍により子どもたちの抱えるストレスは増加傾向にあり、不登校の子どもたちも全国的に増加傾向にあります。令和3年度末の多可町内の小学生の不登校は4名（内継続1名）、中学生は29名（内継続は14名）で、合計33名となっております。小学生の全児童数に占める割合は0.46%。中学生の割合は6%、全体では2.4%となっております。中学校での不登校の割合は、残念ながら全国平均よりもやや高率となっております。そこで、5月9日各小中学校の管理職と担当者、スクールソーシャルワーカー、適応教室の指導員さん、それから教育委員会関係者などを集めまして、不登校対策会議を開催し、今までの不登校対策をまとめた上で、学校と教育委員会が同じ方向で協力し合いながら取組みを進めるために、不登校対策アクションプランを提示いたしました。このプランでは、不登校の未然防止のための取組みとして、多可町心の健康教育を位置づけていること。初期対応の具体的な行動指針を示していること。不登校の状態評価を統一したこと。適応教室の有効利用を呼びかけていることなどが特徴です。この度のアクションプランの着実な実行を進めて参りたいと思います。

(2) 全国学力・学習状況調査について

4月19日に全国学力学習状況調査が全国一斉に実施されました。今年は、平成24年から加わりました理科が3年ぶりに実施されております。出題は大学共通テストと同じ会話形式で行われています。問題文の中にやりとりの吹き出しのようなものがあり、それで問題に答えていくという形で、平成24年当時は単に知識を聞いているだけでしたが、今年理科の問題を見ますと実験観察の手法について、その操作から得られる情報を整理して考えるという思考力を図る内容となっております。今求められている学力は、知識や技能を測るだけでなく、その問題内の条件での思考力・判断力の比重が上がっております。校長会では、今求められている学力を実感するために、ぜひ学校内で教職員が実際に問題を解いてみることを勧めております。今求められている学力の変化に伴い、高校や大学の入試問題も次第に変わっております。目当てを明確にし授業、振り返りのある授業、意見交流のある授業、さらに総合的な時間を活用しました、

探求のある授業などを進めて参りたいと考えております。今後は8月に調査結果が届きますので、9月にその分析を行い10月に多可子どもタイムズや学校からの文書で保護者の皆様に結果をお知らせする予定です。

(3) 統合中学校の進捗状況について

現在多可町地域の学校教育のあり方を考える会の意見書に基づきまして、基本計画を作成中です。昨日、議会におきまして公共施設等計画に関する特別委員会が開かれまして、議会への説明を行っております。建設候補地につきましては中区という意見をいただいていることから、中区のどの場所に建設していけばよいかについて、中町中学校の場所に建設する案と中央公園に建設する案、この2つの案のメリット・デメリットを慎重に検討した結果、中央公園に設置する方がメリットが大きいという結果になりました。具体的には後程教育総務課長からご報告させていただきます。この後のスケジュールにつきましては、住民説明会を経て統合中学校の建設場所を含む、第2次学校規模適正化基本計画を定め、その後で開校準備委員会を組織し統合に向けて取組みを進めていく予定にしております。

(4) 学校長への目標管理ヒアリングと学校訪問について

教職員人事評価・育成システムに基づき学校長への第1回目の目標管理ヒアリングを本日の八千代中学校を皮切りに実施して参ります。各学校長から昨年度の取組みの成果と課題や、組織目標を聞き、学校経営や教職員の育成、学習指導の充実などについて、目標を達成するための手立てを聞いて参る予定にしております。私からは具体的な数値目標を確認しながら、取組みの優先順位を明らかにするなどの指導助言を行います。これらを踏まえて、学校長はそれぞれの所属校で6月にかけて教職員と面談を行います。この後、学校長とは10月から11月にかけて第2回目の中間面談、2月から3月にかけて第3回目の目標達成状況を確認する面談を行い、目標達成と組織の活性化を図っていきます。また、先週の5月27日中町南小学校を皮切りに学校訪問を行っております。今回の訪問では学校施設の改善箇所の確認や事務の適正な処理を確認するための帳簿点検、子どもたちの学びの様子を確認する授業参観、学校長から経営方針を聞くことなどを行い、小中学校の現況を掴むために実施しております。事前に準備する資料等は最小限とし、できるだけ学校の負担を減らすよう配慮を行っております。掴んだ情報をもとに事務の適正執行や学校環境の改善などに生かしていきたいと考えております。

以上、4点 報告いたしました。

教育長：以上、私からの報告とさせていただきます。

ただいまの報告につきまして何かご質問等ありましたらお願いいたします。
教育長集約 質疑等ないようですので、次に移ります。

日程第3

議案第9号 多可町文化財保護審議委員の委嘱について

教育長：ただいまの事務局の説明につきまして、ご質疑等ございませんでしょうか。
教育長集約 それでは議案第9号は異議がないものと認め、提案どおり可決いたします。

議案第10号 多可町図書館協議会委員の委嘱について

教育長：ただいまの説明につきまして、何かご質疑等ございませんでしょうか。
教育長集約 質疑等ないようですので、議案第10号を異議がないものと認め提案どおり可決いたします。

議案第11号 多可町子ども・子育て会議委員の委嘱について

教育長：それでは採決に入りたいと思います。
議案第11号は承認するという事で異議ございませんか。
教育長集約 それでは議案第11号は異議がないと認め、提案どおり可決いたします。

日程第4 協議事項

(1) 6月議会定例会に上程する議案について

事務局：1点目は八千代小学校の学校管理費でコロナ対策にかかる備品購入費です。
小学5年生が1クラス40人学級で教室の中が非常に密になっている状況です。
で、緊急の対策としまして通常東西で西向きで授業しておりますが、南北で、
北の方を向いてワークスペースも活用して、広く場所を使い授業を行っております。
それに伴い窓側に新たにホワイトボードを設置しました。そのため
ホワイトボードが見えにくい為、緊急でブラインドの設置をいたしました。
総額で220,000円となっております。

2点目は新型コロナウイルス対応の地方創生臨時交付金に係る補正予算となり、
子育て緊急特別給付金としまして、就学援助を受給中のお子さん、また
高校生対象のハートフル学業支援金を受給されているお子さんに対し1人2万円を、
緊急に教育費の一部として支給するという事で、補正予算を上程しております。
総額で5,600,000円となっております。

3点目は学校給食費の関係となります。これも物価高騰に伴い学校給食に関する
保護者の負担軽減を図るための補正予算となっております。総額で5,500,

000円となっております。

以上の3点につきまして、補正予算を上程予定です。

教育長：教育総務課からの今の3点の補正について何か質問はありますか。

よろしいか。

では続いて学校教育課の方からご説明をお願いします。

事務局：3点ございます。先ず1点目は学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業ということでICTを推進するために、必要な物品の購入を行う事業です。これにより国庫補助の対象になります。備品購入費で3,312,000円を計上しており、その内国庫補助金が1,575,000円の補助の見込みです。内容につきましては学校の方から必要な要望を聞いており、具体的には書画カメラ、大型ディスプレイですね、それと電子黒板、そのようなものが各学校より上がっておりますが、予算が成立しましたら早急に執行していきたいと考えております。

2点目は中町北小学校の教育振興事業の中で、今年度の水泳事業につきまして補正予算を上げております。中町北小学校のプールですが、施設的に修繕の必要があるということで、今年度は一度加美区の温水プールを使用して水泳授業を実施してみようということを調整しております。その際必要になってくる授業中のインストラクター指導の報償費が60,000円、行き帰りに必要な送迎バスの借上料が150,000円、温水プールの利用料が260,000円となり、合計470,000円の補正予算を計上してございます。

3点目は杉原谷小学校の教育振興事業の中のその他の補助金です。通学費の補助金、杉原谷小学校はバス通学の対象でございますが、昨年度末に転入の転校生があり、その分で今回少し不足しましたので、補正をかけさせていただいております。金額は90,000円を計上させていただいております。

以上です。

教育長：ただいまご報告のありました上程予定のものにつきまして何かご質問等ありましたらお願いします。

教育長：よろしいか。他、ご質問ございませんか。

特にないようですので6月議会定例会の上程に向けて準備を進めさせていただきます。こども未来課は特にございませんね。

事務局：はい

教育長：ないと言うことでございます。続きまして日程第5報告事項に入りたいと思います。

教育長：まず、各種委員会の報告についてですが、教育委員で出席されました会議

の報告等がございましたら順にお願いします。

委員：1件だけ紙面での会議ですが森本の方から欠員2名の推薦についての民生委員の推薦会があり、所管課へ行き2人の推薦について同意をしてきました。以上です。

教育長：ありがとうございます。他にありませんか。

委員：5月13日に令和4年度多可町トライ・やるウィーク推進協議会があり、報告事項として、令和3年度の実施内容は事業所での活動を2日間、残りの3日間は学校での活動となりました。事業所は中町中学校では余暇村公園、加美中学校はラベンダーパーク多可、八千代中学校はなか・やちよの森公園と、各校につき1カ所ずつでした。今年度は3年ぶりに従来の形で5日間、バンク登録していただいている事業者、事業所での職場体験活動をする予定になっております。八千代中学校の40人が、5月30日から6月3日の5日間活動します。中町中学校の73人と加美中学校の37人が9月5日から9月9日の5日間活動をします。活動見学会開催について、八千代中学校は5月31日火曜日の午前9時から、中町中学校と加美中学校は9月7日の午前9時からとなっています。最後に、希望者がゼロだった事業者へのフォローが大切であるということを確認したのと、以前トライ・やるウィークで活動した子どもがその事業者に就職してきてくれてうれしかったですといったお話をお聞きして、子どもたちにとっても事業者にとってもすごく有意義な活動であるということに改めて思いました。以上です。

教育長：ありがとうございます。続いてありませんか。

今のご報告の中で、何かご質問等がありましたらお願いします。
それでは続きまして教育委員会事務局からの報告に入ります。
まず、教育総務課から報告をよろしくお願いします。

事務局：合計9点につきまして、ご報告させていただきます。

まず1点目、多可町の教育の点検及び評価についてです。今年度も実施します。評価委員には、昨年同様、2名の方にお世話になります。お一人目が、兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 當山清実先生です。もう1名の方が、元兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 特任教授 また、県立学校の校長先生をされておりました吉田和志先生。この2名の方に評価委員としてお世話になります。今後、6月から7月に評価委員の先生に点検評価を行っていただき、また教育委員の皆様の方にも、ご承認いただくことになります。

2点目に、就学援助事業について説明をいたします。この度は6月受付としまして、5月25日（水）から6月8日（水）の期間で就学援助の受け付けをさせていただきます。今回は令和3年中の世帯所得が確定したことを受けまして、所得基準に基づいたり、町民税が非課税の世帯を対象に受け付けをするものです。また、4月受け付けの際に、児童扶養手当等を受給されている方で、申請がまだの方につきましても、連絡等をさせていただきますして申請の漏れがないように、丁寧に進めて行きたいと思っております。

3点目はハートフル学業支援金の給付事業になります。こちらは高等学校に通われている方への給付金制度となっており、月額5,000円となっております。こちら6月1日（水）から6月30日（木）までの1か月の期間を申請期間として申請の方を受け付けさせていただきます。6月の広報に掲載させていただいたり、たかテレビの方で周知をさせていただいたり、また、町内の高校生が通われている高校の方に、約50校ほど案内チラシの方を送らせていただいております。

4点目は多可町図書館と那珂ふれあい館事業についてご説明させていただきます。図書館の方につきましては、多可町図書館まつりということでチラシに掲載させていただいております。3年ぶりに多可町図書館まつりを6月4日（土）に開催することとなっております。当日は、お子さんを対象とした様々なイベントも用意しております。子どもたちが喜ぶ消防自動車や白バイの展示に加えまして、プラバンを作ろうということで、アクセサリー等を作るような体験イベントやおはなし会、ミニ縁日等を計画しております。今回はこども未来課の方にもお世話になりました、申し込みの方につきましては、LINE等で申し込みができるような形で進めさせていただいております。また当日、ボランティアグループのサポートネットの方にも10名程度お世話になったり、また多可高校のボランティアの方のお世話になったり、ちょうど八千代中学校のトライ・やるウイークと重なりますので、中学校の生徒の皆さんにも活動していただくように計画をしております。

5点目は那珂ふれあい館事業の6月のイベントについてです。那珂ふれあい館の方でも、かなりコロナの状況が緩和されたことも受けまして、団体のお客さんも6月から多数予約が入っているということで喜んでおります。あと、体験イベントも、昨年からいろいろと目新しいイベントが増えておりまして、参加者も多くて本当に喜んでおります。

6点目は令和4年度の全県教育委員会研修会が8月18日（土）・19日（日）の両日で開催されますが、期日が近づきましたらご案内させていただきます。

7点目は令和4年度新任教育委員会研修会で11月中旬に開催される予定です。

8点目は令和4年度近畿市町村教育委員会研修大会で11月1日大阪の方で開催される予定ですが、案内等が来ましたらご案内させていただきたいと思っております。

最後の9点目は4月度の教育委員会の要旨録をつけさせていただいております。内容等ご確認いただきまして修正等ございましたら、この場で確認したいと思っております。

以上、教育総務課からご報告いたします。

教育長：それでは報告につきまして、何かご意見ございますか。自由討議でどうぞ。

委員：ハートフル学業支援事業のところについてですが、これは全高等学校、私学公立含めたくさんありますが、これ全部、1年生から3年生までの在学している生徒について送られるということですか。

事務局：多可町の子どもが現在通っている学校に、郵送させていただいております。

委員：大変な数ですが、ご苦勞様です。

教育長：ありがとうございました。他何か質問、ご意見等ありましたらお願いします。

教育長集約：よろしいか。それでは教育総務課からの報告は以上とします。

教育長：次に学校教育課の報告に移りたいと思っております。それではよろしく申し上げます。

事務局：小・中学校関係で修学旅行ですが、今現在中町中学校が、昨日から出発しまして、伊勢・名古屋方面に行っております。今日は天候が少し心配されましたが、ナガシマスパーランドで楽しんでいるというようなことが、ホームページにも上がっております。明日の天気は回復すると思われそうですが、京都市内で班別自主研修の形で進めていくと聞いております。それから八千代中学校が来週の5月30日月曜日から3日間で、行き先もほぼ同じような所ですが、予定されております。加美中学校は4月に済んでいます。あと修学旅行のコロナウィルス関係での急なキャンセルについて、保険に入らせていただき、費用は町で負担する形で対応させていただくことになっております。今後小学校にも計画がありますが、そちらにつきましても同じ対応をしていくことになっております。

それから八千代小学校、6月21日（火）・22日（水）と奈良京都方面に行くことになっております。続いて自然学校ですが八千代小学校が最初で5月30日（月）から5日間となります。ただし宿泊日数は2泊3日ということで、それに加え日帰り2日間の計5日間で対応させていただいております。例えば、4泊5日で行って初日にコロナ陽性の子どもが出たら、全員帰らなければならなく

なるとか、そういう非常に難しい対応があり得るということで、リスク回避のために宿泊の日数を減らしている状況です。松井小学校・杉原谷小学校・中町南小学校・中町北小学校については、国立淡路青少年交流の家で2泊3日の活動を予定しております。

それから、先ほど委員の方からご報告のありました、トライ・やるウイークが5日間の社会体験ということで、八千代中学校が来週から1週間予定しております。今回初めて小学校も受け入れし、2名の生徒が八千代小学校に行くことになっております。どういう結果になるか楽しみにしておりますが、5日間よい体験ができるのではないかと考えております。中町中学校、加美中学校につきましては、行事の関係で9月5日（月）から9日（金）の日程で実施することになっております。

それから中学校の郡総体ですが、6月18日（土）・19日（日）、19日は予備日ということで今後抽選会が行われて組み合わせが決定します。今回の郡総体については、保護者の方の応援等についても広く受け入れる方向で検討していると聞いております。それから、毎月1日は命と人権の日ということで、各学校の方で命と人権の集会を開いていただき、先生方に講話をしていただいたりとかしながら、子どもたちに命の大切さを伝えているところです。行事予定につきましては以上です。

続きまして多可町不登校対策アクションプランというものを別冊で用意させていただきます。

5月9日（月）に、各校の校長、不登校担当に集まっていただき、そこにスクールソーシャルワーカー、適応教室指導員、教育委員会の関係者を加え不登校対策会議を開いております。その場で、この不登校対策アクションプランを提示させていただいて、ベクトル合わせを行ったところです。少し内容を紹介いたしますと、多可町の現状として多可町内の不登校児童生徒数の推移を載せており、平成29年度から令和3年度にかけて、小学校では大体5名ぐらいで来ております。出現率をパーセントで言うと0.5%位ですね。中学校につきましては、平成29年度は20人だったところが、27、38、31、29で、非常に増えた時期があり、出現率も全国の平均は大体4.1%ぐらいですが、多可町については6%を超えているような状況です。そういった中、国の動きを見ていただきたいと思いますが、義務教育課程における普通教育に相当する教育の機会の確保に関する法律、平成28年12月、それから基本方針の策定が進められまして、いくつか方針が出ております。

一つ目はここの不登校児童生徒の状況に応じた支援、それから不登校児童生徒に対する多様で適切な機会の確保、不登校等に関する相談体制、教育相談体制の充実、こういったようなものが打ち出されております。

二つ目は不登校児童生徒への支援のあり方というものが、令和元年の10月に出ておりますが、そこでは指導要録上の出欠の取り扱い、これにつきまして

は例えばフリースクールとかに行き行って活動する部分も出席扱いにするといったところが広がられた。また、以前は学校への復帰が前提とされる指導支援が主でしたが、社会的自立を目指すというゴールに向けて支援をしていく方針に変わっております。

資料のグラフを見ていただきますと、左側のグラフが小学校、右のグラフが中学校ですが、小学校を見ていただくと右肩上がりに増えている状況で、中学校も増えている状況です。それを踏まえまして多可町不登校アクションプランということで、大きく4つの柱立てをさせていただいております。

一つ目が児童生徒理解ということで、多可町では心の健康教育を進めております。これにより子どもたちのSOSの出し方とか、ストレスとの付き合い方とか、そういった力を付けていく。それから欠席者が出た場合の対応の方針ですが、1日目、2日目、3日目、4日目以降はそれぞれどう対応するといったこと。それから相談の体制ですね。そして学力の補充を入れております。

二つ目は保護者との連携ということで、基本的な生活習慣の確立です。家庭学習の習慣、それから学校からの情報発信、そういったところが内容になります。

三つ目は学校の組織力の強化ということで校内の小中連携不登校対策、心の居場所づくり、不登校対策会議の開催、それからデータ管理の強化といった内容になっております。

四つ目は教育委員会による支援です、安全安心な居場所の啓発ということで、適応教室であるとか、県立の居場所になる施設、また森のようちえんもございまして。それから教育相談の充実、ネットワークづくり、といったところでプランをまとめさせていただいております。

一つ目が不登校未然防止のため多可町心の健康教育、実施の目的や内容を記載しております。本日、八千代中学校に行かせていただいたのですが、心の健康教育の授業を行った後でストレスチェックをされておりました、それを受けて、今週はフィードバック週間ということで45分授業にして子どもと面談している状況でした。二つ目が欠席1日目の対応、電話や訪問になっておりますが、まず電話の対応は、こういった言葉をかけたらいいのではないかということも書かせていただいております。三つ目に2、3日目には家庭訪問をします。四つ目が4日目以降ということになります。教育長のお話にアクションプランについて、心の健康教育や対応の仕方のところ、それから状態の把握がありましたが、その状態の把握がこのページの表です。状態0から6まで分かれており、状態0、1、2は学校に登校している状態になります。状態3、4、5、6については不登校になっている状態。その中でも、例えば外出ができるであるとか、外出ができにくいであるとか、そういったことによって状態を細分させていただいております。先ほど、見立てのお話がありましたが、こういった状態の分類を共通理解して見立てをすることによって、対応方針につなげていくといった体制を取ります。それから居場所について

は、別室の有効活用であるとか、適応教室の有効活用についても載せておりますが、なかなか認知度が低いこともあり、そのあたりのPRも必要ではないかという話もありました。適応教室がどういうところなのかということをもとめてあります。最後は不登校対策アセスメントシートで、学校あるいは関係機関が集まってケース会議をするときに、掲載の表を一緒に会議の中でまとめていく、こういった作業を通じケース会議で対策を決めて行くのに使うためのシートで小学生用と中学生用を作らせていただいております。

このアクションプランにつきましては、本年度各学校で取り組んでいただいて、対策会議当日、学校の管理職の方から声が出ておりますが、例えば年度末に一度このアクションプランの取り組み状況を検証する場も必要ではないかということも聞いております。

第2回目の不登校対策会議を検討させていただきたいと思います。長くなりましたが、説明は以上です。

教育長：それでは学校教育課の報告につきまして、何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。自由討議で結構ですのでご遠慮なくご意見をお願いいたします。

委員：不登校対策について、非常に詳しくまとめられている報告を受けました。小学校から中学校に移るときに、小学校の出現率が少なく見えるんですけど、中学校に入った途端にパーセントも総数も増えてきていると前々からよく言われてまして、中1ギャップと言いますかそういったものがあると思うんですが、具体的には子どもたちの気持ちにかなりのプレッシャーがあり、かなり問題であるということなんでしょうか。

事務局：小学校から中学校にかけて急に増えていくところがあるというのは、以前から私も学校現場にいるときから感じておりましたが、やはり小学校では1人の担任の先生がずっとついていて丁寧に指導していたところが、中学校になると教科担任に変わっていくようなところで変化があるので、それに合わない子どもがいるのも確かだと思います。そういったところも、学力とかもそうですが、急に対処が変わっていくところを円滑に接続するために、言われているのは小中連携、小中一貫というような考えも持ちつつ、できるだけ子どもがこのギャップをあまり感じないようにするようなことをしていかなければならないと思っております。答えであるかはわかりませんが、同じ校区の小学校・中学校での連携した不登校対策会議というものも、これから必要になってくるという話も出ておりますので、これにも取り組んでいく必要が出てきていると思っております。よろしいでしょうか。

委員：学校により、その小学校から中学校に向けて、その資料や生活状況とかを中学校に送られるといった情報の交換を今もずっと続けておられるのですね。

事務局：はい。児童生徒カルテということで校務支援システムで蓄積されており、小学校のものがそのまま中学校の方で見ただけ。連携と引き継ぎがスムーズになっている状況ですので、そのあたりは以前よりも今は充実していると思います。子どもたちが中学校に入るときに、様子を見て困りごと等を早めに見立てて対応して行くような体制がやはり大事だと思います。

委員：小中一貫といった方向性も、形がだんだん目に見えて来ている状況ですので、できたらこのギャップが少なくなるように多可町もいろいろな施策を参考にしながら進められたらいいなと思いました。

教育長：ありがとうございます。今の委員の意見に関連して何かありますか。

教育長：先日、こども未来課で、子ども子育て会議の1回目を行いました。そこで協議内容もこども園と小学校との接続をどうするかで、これは小学校の場合、小1プロブレムと言いますが、学びの環境が変わることによりいろいろな問題が起こっているというもので、防ぐにはどうすればいいかというものです。これについては国の方で今、幼小の架け橋プログラムというのが作られてまして中央教育審議会の方で審議がなされて盛んにこの大切さが言われております。また、多可町におきましても幼小中の三つの連携をしっかりとっていかないと、この不登校問題も解消していかないというふうな問題意識は持っております。また、これからこの方面に力を入れていかないといけないという課題意識も持っておりますので、教育委員の皆様からも何かこんな取り組みをしたらどうかといったことがありましたら、どんどん提案していただければと思っております。

委員：いろんな政策も大事なことですし、わかる範囲でどんどん取り組んでいかななくてはと思うのですが、この目に見えない空気感というか例えば発育段階後期の中に例えば1人遊びとか、1人でゲームをすとかの1人の時間が幼少期からだんだん増えてくる、それから中学校に入っても1人で過ごす時間が増えてきている。人との関わりということに関して、幼少時から青年前期にかけて、一番大事な人格を作る時に、そういったものがかなり不登校とかそういったことに関して影響しているのではないかなと感じたのですが。こういった施策をいろんなデータ・情報を入れて進めていかれることをチームワークで進めていくと同時に、一言で言いにくいのですが空気の中で1人だけで過ごす時間とか動物も含めて、人間相手に過ごす時間も心の中で何か

が切斷されているような状態で成長しているのではないか。そういうことが何か人と人との結びつき人の心を強くも弱くもしていく。そういったことも何か関係していることを憶測で思ったりしますので、そういった中で子どもたちを見つめていくことは、本当に大変だと思うのですが、地域・家庭・学校を含めた、そういった検証データがあれば面白いと思います。

教育長：今の委員の意見に関連してお話しさせていただきますと、学校教育課の方から報告がありましたトライやる・ウィークの話なのですが、これで毎年よく報告されるのが、不登校だった子どもがトライやる・ウィークの5日間の活動で、学校に来られるようになったという事例が数多く報告されてきています。これは先ほどの委員のおっしゃった、繋がりという部分で非常に関連しているのではないかと思います。地域の方々の中で自分が5日間活動することによって自分が感謝されたり自分が人の役に立つ、それで自分が将来何になりたいかという目標とかがしっかりとしてくる。そういった中で、自分はこうありたい、だから頑張りたいという前向きな気持ちが学校への復帰となって出てくるのではないかと考えております。だから先ほどの今日訪問した学校でも本校の子どもたちはゲーム等をする子どもたちが多く、その対応がうちの学校の課題ですと訪問先の校長先生が言っていました。ゲームはやはり1人でやったり、顔の見えない友達と夜遅くまでとか、基本的な生活習慣含め色々な問題を含んでおりますが、その対極にあるのが豊かな体験活動ではないかなと思っており、トライやる・ウィークをはじめとする、本当に繋がりのある豊かな体験の場をこれからも増やして行くべきで、それが不登校対策となり、子どもたちの自立に繋がっていくのではないかと考えているところですが、ご意見、他何かありますか。

教育長集約：それでは学校教育課からの報告につきまして、ご質問がない用でしたら、こども未来課のご報告をお願いしてよろしいでしょうか。

事務局：まず、第4回多可町認定こども園保育フェアについてです。これにつきましては各大学とか、また今回は高等学校の方にも将来保育士を目指すかどうかを考えておられる方につきまして関心を持っていただきたいということで案内状を送らせていただいております。開催日時は令和4年6月26日（日）9時から12時で、中コミュニティプラザの大会議室ということです。昨年までは認定こども就職フェアということにしておりましたが、昨今の出生数の減少でやはり保育士を採用しなくても運営できるという園が若干出てきたところでございまして、就職フェアということについて多可町保育協会の5園が集まったときにどうだろうという話があった中で、各園保育のことを知っていただくということから保育フェアという名前にさせていただいたも

ので、ご理解いただきたいと思います。協賛につきましてはハローワークまた後援につきましては兵庫県保育協会からもいただいております。加西市が前日の6月25日（土）に開催されると聞いております。昨年は15名の来場でみどりこども園と四恩こども園で1名ずつ採用になったとお聞きしています。

続きまして第33回全国おじいちゃんおばあちゃん、子ども絵画展についてです。6月に入りますと、封筒詰めをしまして、全国の教育委員会また国立大学等の附属の認定こども園・幼稚園や昨年出展していただいた学校等と、全国に向けて募集チラシなり、ポスター等を送らせていただきたいと思っております。昨年はウェブ展示ということで、全国各地からインターネットを使って見るができるということで、6,334点の応募がございました。なんとか6,000点の応募があると思っておりますので皆様方も宣伝していただければ非常に助かるなど思っております。以上です。

教育長：続きまして、中・みなみ児童館のかきかた・図工・書道についてです。

事務局：みなみ児童館でかきかた・図工・書道を開催させていただいております。

かきかたについては結構申し込みがあったようで、先日36名の申し込みがあったということです。

書道につきましても14名の参加者があり、図工につきましても14名申し込みがありました。八千代小学校の学校閉鎖がありましたので参加者は6名だったと聞いております。定期的に募集していこうと思っておりますのでご理解をお願いしたいと思います。

次に土曜チャレンジ・出前ひろばということですが、5月・6月のイベントの案内ということで載せております。既に5月20日（金）・5月22日（日）については終わっておりますが、参加者につきましては子ども26名、保護者16名で結構来ていただいたと聞いております。5月29日（日）の方ですがこれにも子どもが14名、保護者が9名の申し込みをいただいております。また、「TAKAの森を歩こう」はクアオルトの森を歩くというもので6月12日に開催予定です。

6月19日（日）のイベントも随時募集をしております。以前の話の中にありましたとおりQRコード等で申し込めるので、かなり便利になっておりまして、中止や変更になった場合も、そこから連絡できるので事務的などころも簡素化しています。

続いて6月の行事予定です。保育フェアについては先ほどのご説明の通りです。また、児童館・子育てふれあいセンター運営委員会が6月17日（金）の19時30分からで、子育てふれあいセンターの遊戯室で開催を予定しております。

また、表彰として令和4年度児童健全育成活動功労者の件です。顕彰事業で、

中児童館の竹中瑞穂児童厚生員が勤続15年ということで、全国の表彰の該当になるということで推薦いたしました結果、兵庫県で6名の中に入られまして、表彰を受けておられます。この表彰につきましては勤続10年で1度県等で表彰いただいた方が全国の表彰を受けられる形になっておりますので、おめでたいといえますか、長い間お世話になったなと思っております。

続いて、ちびっこわくわくベルディーは4・5歳児対象ということで6月30日（木）の10時からベルディーホールで予定しており、森のようちえんの4・5歳児にも声をかける予定です。次に、子ども会の主催行事である野外活動リーダー研修を6月5日（日）に嬉野台生涯教育センターに行かせていただく予定です。この2年開催できてなかったのですが、申し込みがぼちぼちあると聞いておりますのでご理解いただきたいと思っております。伝統文化の継承については、将棋、囲碁、茶道またカブキッズにつきましても現在まだ募集しており、徐々にコロナ禍が解消していく中で申し込みが増えてきているところでございますが、やはりカブキッズに入られる方が少ないので、先日も社会教育主事等が各小学校を回りまして、宣伝していただいたものの、そのときはかっこいいと言う話だったのですが、なかなか申し込みには至らないというところで、小学生が入っていただき、また中学生や大人の方にも手伝っていただきながら後継者を作っていないと、今後なかなか難しいなと思っておりますので、どなたか入る方がおられましたら、声かけをよろしくお願いしたいなと思っております。少し長くなりましたが以上でございます。

教育長：それではただいまのこども未来課の報告につきまして、何かご質問ご意見等がございますでしょうか。

委員：このおじいちゃんおばあちゃん絵画展ですが、かなり長く続いており毎回楽しみにしているのですが、だんだん作品も味がある作品が出てきて、すごいと思うんですけど、先ほど事務局から6,000点目指しているということで、だんだん応募の数も増えて、応募の範囲を広くしているのでしょうか。

事務局：私は、第2回から第5回で、おじいちゃんおばあちゃん絵画展をさせていただきましたが、最初に作られた方ときは約1,500点でした。それで、何年かして少し広げようということで加東市・西脇市等に案内をさせていただいたら徐々に増えて、一番多いときで9,000点を超えたんです。それがピークで、その後の合併後は2,000少しとか3,000少しで推移したんですが、参加賞を出さない、作品も返さない時期があり、応募が結構減り、そこに子どもの数が減ってきました。

委員：この、資料の色々なところの絵画展とは何ですか。

事務局：例えば鉛筆とか絵の具の会社が絵画展や展示会をしたときに、そっちの方が賞品がいいので、そちらに出展されるというのも結構あったと聞きまして、平成29年に、これを全国に発信しようということで、全国に発信して、それで4,000点に増えたということです。その後も継続して東播磨の明石市とか加古川市及び高砂市の方まで各教育委員会を回りチラシを持っていきました。他、姫路市にも行きました。姫路市は小・中学生が多くおりましたので、学校の連絡箱に搬入するのも大変でした。もう叶わないなど思いながらやってきた成果が少しずつ出てきました。

ネットで検索すれば子どもや孫の作品が見られるとか、そういったものが上手くプラスになったと思いますので、何とか6,000点は確保したいと思っております。少し余談もありましたが。

教育長：付け加えますが、全国から応募がありますので、展示会場に来られない出展者も数多くいらっしゃるでしょうから、ウェブ上で公開するようにさせていただきました。それには描かれた絵を全部デジタルデータに置き換える必要があります、カメラで撮影してデータに変換し展示できるようにしないとイケませんのでかなりの手間が掛かります。今までは教育委員会の職員でこれをしておりましたが、議会の方で予算を通して今年度から外部委託ですべて業者の方をお願いすることになっております。少しずつこういった形で敬老の日発祥の町として全国に発信できて、これを通しておじいちゃん、おばあちゃんと子どもたちの関わりができてきたらいいなということを思っています。

委員：やはり自分の手でいろんな作品を作っていく。子どもが活躍できる場をきちっと確保することも少し関係するのではないかとということもありました。話を聞いたらパソコンで作文を書くのは早いですが、実際に鉛筆で作文を書くのが苦手でできないというものがあり、こういうところにも差が出てきているといった話を本日午前中聞きました。やはり作品を作る、手で作る、そういった活躍の場が子どもたちにもあるという、そういう空気、そういう工夫をなくさないようにサポートしていけたらなと思います。

教育長：はい、ありがとうございます。

他にこども未来課の報告に関しまして何かありますか。

よろしいですか。

教育長集約：特にないようですのでこども未来課の報告を終了いたします。

(3) 次回教育委員会について

令和4年6月23日(木) 午後1時00分～

(4) その他

事務局：次回は13時からお世話になりたいと思います。その後、総合教育会議で、お世話になれたらと思っております。町長と教育委員の皆さんとの意見交換というところでご予定いただきたいと思います。教育委員の方からは是非とも町長に要望したい、協議したいテーマがありましたら、この場でお聞きしたいと思っております。

教育長：今、事務局から総合教育会議が教育委員会の後、引き続き行われるということですのででよろしく申し上げます。毎年テーマを決めて、町長とともに話をしますので、今、このことについてぜひ話をしたいというテーマがありましたら、今言っていただいても結構ですし後程、教育総務課の方にご連絡いただけたらとも思います。

事務局：何か今思われていることはありますか。

教育長：特によろしいか。

事務局：こういうのがあったらいいなというのがありましたら、また意見を聞かせていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

教育長集約：それでは本日、予定しておりました、定例教育委員会の議事日程をすべて終了いたしました。

これで本日の議事日程を終了し、委員会を閉じたいと思います。

【閉 会】

教育長 午後3時00分 閉会宣言

令和4年5月26日

印

印

